

大会宣言

われわれ交通労連は第 61 回定期大会を開催し、2024・25 年度の運動方針等を決定した。

これまで約 3 年半、新型コロナウイルス感染症の影響によって様々な制限の中での社会生活を強いられてきたが、ここに来てようやく長いトンネルを抜けつつある。しかし、国外ではロシアのウクライナ侵略による戦禍の長期化をはじめ不安定な情勢が続いており、国内においてもエネルギー価格や物価の高騰、加速する人口減少・超少子高齢化、貧困と格差の拡大など、社会経済の持続性に関わる課題は一層深刻化している。

長引くコロナ禍は、われわれの産業、そして働く仲間とその家族に深刻な打撃を与えた。この間に受けた甚大なダメージからの回復と産業の持続的な発展に向け、政策面での取り組みを強く推し進める必要がある。労働力不足や「2024 年問題」をはじめとする働き方改革等への対応など、労働環境が大きく変化する中で組合員の雇用と生活を守り、この厳しい状況を打開するため、連合や交運労協、各級議員、行政機関、事業者団体などあらゆる関係者との連携をさらに強化し、政策の実現に向け全力で取り組んでいく。

一方、組織人員の減少には歯止めがかかっておらず、組織・財政の両面で非常に厳しい状況にある。加盟組合にとって魅力ある産別としてあり続けるためには「組織の強化・拡大」の取り組みとあわせ、運動そのものや組織体制も含めた「今後のあるべき姿」についての議論を加速し、将来に向けて必要な改革を断行することで魅力と頼りがいのある産別の実現をめざす。

われわれは「自由にして民主的な労働運動」を堅持し、本大会で決定した方針に基づく諸活動を全加盟組織が一丸となり力強い運動を展開していく。

以上、宣言する。

2023 年 9 月 13 日

交通労連
第 61 回定期大会